

10月の保育（〇ねらいと担任の思い）

<4歳児 りす組>

親子運動会に向けた取組では、年長児と一緒に同じイメージの中で動いたり、様々な体の動きを経験しながら伸び伸びと体を動かしたりすることを楽しんできました。1学期は緊張や不安からか、年長児と一緒にする活動では控えめな姿だったりす組の子どもたちでしたが、少しずつ一緒に過ごすことの楽しさや心地良さが感じられるようになり、年長児に対しても安心して自分の思いを表したり、親しみを込めて関わったりする姿が見られるようになりました。活動に向けた取組だけでなく、普段の生活の中でも、年長児の姿に刺激を受けたり、憧れの気持ちをもったりしていけるように援助していきます。

秋らしい日も続いています。戸外で体を動かすことが心地良い気候となり、園庭やビオトープ周辺では、様々な秋の自然、生き物を目にするが増えてきました。探す、見付ける、集めるなどのうれしさに共感したり、自然物を使って様々な遊びを楽しむ経験、秋の生き物に親しむ経験を充実していけるように必要な環境を整えたりしていきます。また、秋植え（蒔き）の野菜や植物の栽培も進めています。

一方で、気候の変化に伴い、体調の崩れが表れやすくなる月でもあります。引き続き、手洗いうがいを丁寧に行うことや気温に合わせて衣服の調整をすることなど、健康な生活に必要なことについての指導も行っています。

〇自分のしたい遊びを繰り返し楽しむ中で、自分なりに試したり工夫したりすることを楽しむ。

〇生活に必要なことが分かり、できることを自分から行ったり、丁寧に取組もうとしたりする。

〇秋の自然や生き物に親しみ、自然物を遊びに取り入れる面白さを感じたり、生き物の様子に興味をもって過ごしたりする。

<5歳児 はと組>

親子運動会の経験から、「やってみよう」「できるようになりたい」という思いや願いをもって繰り返し挑戦する姿が見られます。演技や競技で自分の力を発揮したり、プログラムの司会や係の仕事などを自分たちで進めていく意識をもって参加したりするなど、親子運動会での様々な取組を通して友達と協力してやり遂げる喜びや達成感を味わえたことが心身の成長につながったことでしょう。

好きな遊びでは、自分のやりたいことを友達に伝え合いながら、一緒に同じ物を作ったり、同じイメージで遊んだりすることが多くなってきました。考えを自分なりに伝えようとする姿を大切にしながら、伝わりにくいところは教師が引き続き橋渡ししていきます。また、相手の考えを受け入れると遊びがより楽しくなることに気付けるようにしていきます。

風が涼しくなり、すっかり秋らしくなってきました。自然にも関わり、色水作りや虫探しなどを続けています。木の実拾いや落ち葉、サツマイモの生長、空や雲の様子など、秋ならではの自然へ更に興味・関心をもてるようにしていきます。また、自然環境に触れることで、大きさや長さ、量を比べたり、不思議に思ったことを図鑑などで調べたりし、知的好奇心が高まることにもつなげていきます。

☆いろいろな運動遊びに挑戦したり、友達と競い合ったりして、体を動かして遊ぶことを楽しむ。

☆遊びや活動の中で友達の思いや考えに気づき、友達と一緒に遊びを進めていく楽しさを味わう。

☆秋の自然と関わり、見つけた物を遊びに取り入れたり、調べたりして興味や関心を深める。